



災害対策の現状

樋口 哲郎
(新風会)

質問 豪雨災害に備え、ハザードマップを改定する予定は。

答弁 現行のハザードマップは、平成30年9月に改定したもので、全戸配布により活用されている。令和3年7月の水防法の改正により、基準河川に中小河川を含むこととなり、洪水浸水想定区域が拡大されることから、本年度中にこれらを反映させた改定版を作成し、全戸配布する予定である。

質問 令和元年の台風19号では、吉井地域に多くの浸水被害があったが、錦川周辺の水害対策の現状は。

答弁 平成26年度から実施している危険箇所総点検において、錦川や支流の河川用排水路、道路側溝などを点検している。また過去に浸水被害があり、緊急性の高い箇所では、土砂のしゅんせつや水路・水門の整備、改修などを行っている。今後の軽減を図っている。今後も、引き続き水害対策に取り組み、市民の安全・安心の確保に努めたい。



更年期症状に悩む女性への支援

小野 聡子
(公明党)

質問 更年期に悩む女性が安心して働き、社会で活躍できるように、広く市民に向けて啓発する考えは。

答弁 女性が離職する理由の多くは、出産や育児、更年期症状などであり、それぞれに合った支援が求められている。本市では、働きたい女性や働く女性が思いをかなえられる社会を目指す

しており、更年期症状に対する社会全体の認識が高まるよう、啓発に努めたい。

質問 本市において、ミライロIDを導入する考えは。

答弁 ミライロIDについては、導入する方向で検討を進めていく。導入すれば



指定避難所の表示板



農業の持続的発展

依田 好明
(日本共産党)

県内初となり、まずは市有施設、ぐるりんバス等に導入したいと考えている。また、障害や疾病でパット等を使用している男性向けに、

サニタリーボックスを設置している民間施設もあるため、他市町村の状況等を把握し、積極的に検討したい。



質問 本市における水稲の作付面積と収穫量の推移は。また、コメの取引価格はコロナ禍前と比較してどうか。

答弁 令和3年の水稲の作付面積は1440ヘクタール、収穫量は6810トンであり、令和元年と比較してそれぞれ60ヘクタール、160トン減少した。またコメの取引価格は、コシヒカリの最も良い等級で、令和3年産米が約8900円



障害者支援

中島 輝男
(市民クラブ)

質問 障害者施設等における虐待防止の取り組みは。

答弁 本市では虐待防止対策として、現場の職員向けの研修と管理者向けの研修をそれぞれ隔年で実施している。また、現場側と管理者側の感覚の差異を解消するため、双方が参加する研修を実施し、施設としてのより良い対応を検討する取り組みも進めている。今後も、より実践的で効果的な研修となるよう工夫したい。



質問 県の警戒レベルが1になり、高齢者のワクチン

接種も順調に進んでいるが、高齢者のフレイル予防活動の現状と今後の取り組みは。

答弁 コロナ禍により、高齢者のフレイルを予防する事業が実施できない状況だったが、昨秋頃から介護予防教室や高齢者サロンなどの事業を徐々に再開している。今後も4回目のワクチン接種を推奨することにも、再開に向けた取り組みを支援し、要介護、要支援状態にならないための予防やアドバ



請願・陳情のご案内

請願・陳情とは

市政についての要望などを、どなたでも請願書・陳情書として市議会に提出することができます。

請願は所管の委員会で審査し、本会議で議決します。陳情は本会議の際、議場で陳情書の写しを配付します。ただし、内容によっては、所管の委員会で協議する場合もあります。

請願には市議会議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。

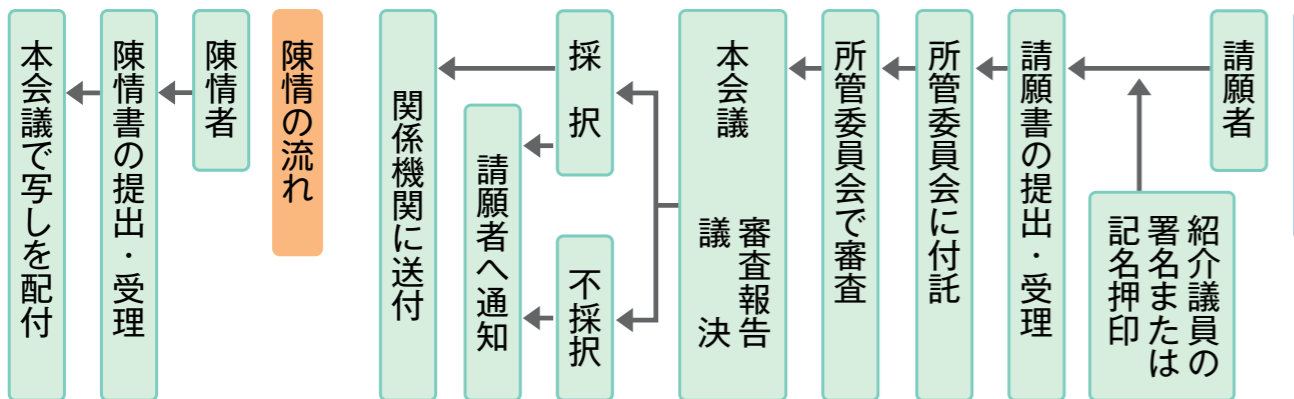
請願書や陳情書は、いつでも提出できますが、概ね各定例会の告示日に締切りを設けています。

作成上の注意

請願（陳情）書は、日本語で件名、趣旨、請願（陳情）事項、提出年月日、住所を記載し、氏名については署名または記名押印をしてください。また、件名、趣旨は簡潔にわかりやすく、必要に応じて地図等を添付してください。

※請願（陳情）者が複数の場合は、代表者を定め「ほか〇人」と表示し、署名又は記名押印をして、必ず代表者以外の署名または記名押印をした署名簿も添付してください。なお、請願（陳情）者の住所、氏名は、一般に公開されます。

請願の流れ



さらに詳しい内容は会議録で

市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については8月末に公開予定です。

- 市民情報センター（市役所1階）
- 高崎市立図書館（中央館及び地域館）
- 倉渕公民館図書室



● **サニタリーボックス** (P8参照) トイレの個室に設置する小さいごみ箱。

● **フレイル** (P8参照) 健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態。



● **しゅんせつ** 河川や港湾などの水底の土砂を取り除き、水深の維持を図ること。

● **ミライロID** 障害者手帳を所有している人を対象としたスマートフォン用アプリ。障害者手帳の情報や求めるサポート内容などを登録することで、公共施設等での割引や必要なサポートをスムーズに受けられるもの。